

令和7年度学校評価表（外部評価）

No	外部評価項目（学校評議委員用）	評価			
		適切である	ほぼ適切である	やや不適切である	不適切である
1	自己評価の実施方法は適切か。 （重点目標、評価項目設定等は適切か）	80%	20%	0%	0%
2	取り組みは適切か。 （重点目標を受け、取り組んだ内容は適切か）	80%	20%	0%	0%
3	自己評価は適切か。 （自己評価の結果は適切か）	60%	40%	0%	0%
4	改善方策は適切か。	40%	60%	0%	0%

＊意見・アドバイス

○財政が限られている中、出来ることはしていただいていると思います。特に長年の懸案であった学生寮へのエアコン設置など、学生の学習・生活環境の改善に取り組まれた点は高く評価します。

○施設整備に関しては、予算の問題から改善が進んでいるとは言えないが、学校側の計画的な導入予定から充実度が上がっていることが評価できる。

○畜産学部の入校者数の減少傾向が続いており、定員確保のための対策が必要。また、少人数でも意欲ある学生の声を発信していただきたい。

○現場では非農家出身者や異業種参入の園芸法人が増加し、直売や飲食店向け等の少量多品目栽培への関心が高まっているため、これら就農ニーズの変化への対応が必要と思います。

○自己評価から改善に向けた取組を実施され、その結果として学生の満足度が向上が達成されている。

○学生の声として、「先生により授業内の意見の相違があり、とまどう」ので統一してほしいとの意見があったので、職員間の横の連携を深めてほしい。

○学生活動の評価が低い状態の対策として、日頃のコミュニケーションをつくる場が必要と思います。食堂の近くに学生運営のカフェでも開店してはいかがでしょうか。

○先進農業体験学習では、農大の学生は高く評価されており、心強く感じております。今後も連携を深め地域農業の担い手確保を進めたい。